



"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE OSACA CENTENNIAL

C/O OSACA YMCA  
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,  
 OSACA, JAPAN

October 2001 No. 4  
 Chartered July 20, 1982

## 標語 YS SLOGANS (2001~2002)

クラブ会長 『ひろがれワイズ ぬくもりのある共生社会をめざして』  
 国際会長 "Building new Y'sdom with the teachings of Jesus Christ"  
 『イエスキリストの教えに基き 新しいワイズダムの建設を』  
 アジア会長 "Be a Grain into the Ground"  
 『地中の種となれ』  
 西日本区理事 "No Dream No Future"  
 『クラブビジョンを語ろう』  
 中西部長 『兄弟愛をつづけよう』

## クラブ役員 Officers

会長 : 中村 茂高  
 副会長 : 畠中 彬  
 " : 松浦 孝次  
 書記 : 山田 孝彦  
 " : 畠中 彬  
 会計 : 三浦 直之  
 ネット会長 : 畠中ひろみ  
 Y連絡職員 : 浜野 昌保

## 月間強調テーマ : 『 Public Relations Wellness 』

### 《《《《 10月の聖句 》》》》

#### 【 Biblical Message of the Month 】

愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。  
 愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を  
 求めず、いらだたず、恨みを抱かない。  
 不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてを忍び、すべてを  
 信じ、すべてを望み、すべてに耐える。

(コリントの信徒への手紙 1 13章4-7節)

### 《《《《 Attention Please 》》》》

- 10月第1例会は、右記のとおり。大阪府立青少年海洋センターと海風館の所在は、大阪府泉南郡岬町淡輪 6190 (Tel: 0724-94-1811) 南海本線淡輪駅下車徒歩 600m。費用は、メン 8,000 円、メネット 5,000 円です。
- 10月第2例会は、10月24日(水)18:30~20:30 大阪YMCA土佐堀館 9F。第1例会に出席が無理な方は、ぜひ第2例会でメイクアップしてください。
- 11月第1例会は、11月21日(水) 18:30~20:30 です。
- YMCA クリスマスは、12月1日(土)夕刻、大阪教会と大阪YMCA土佐堀館で開催。ご予約ください。
- 第1回土佐堀 YMCA カーニバルが、11月3日(土・祝) 11時~15時に開催されます。YMCA に多くの人たちが訪れてもらうことを目的に、オークション、屋台、子供広場などを運営する計画。ワイズ6クラブも協力します。

### 《《《《 10月第1例会 》》》》

#### 【 September Regular Meeting 】

- 日時: 2001年10月7日(日)~8日(祝・月)  
 場所: 大阪府立青少年海洋センター
- 第1部 10月7日(日) 16:00~22:00
1. 集合・オリエンテーション 16:00~
  2. 海鮮バーベキューパーティ 16:30~
  3. 全員討議「CS活動をどう進めていくか」  
 19:00~22:00 司会: 藤原正巳 CS委員長
- 第2部 10月8日(祝・月) 8:00~13:00
- ※ 朝食例会 (海風館) 8:00~9:00  
 司会 山田 孝彦君 (例会当番 第1班)
1. 開会点鐘 中村 茂高 会長
  2. ワイズソング 一同
  3. 聖句朗読 新保 正秋 君
  4. 日々の糧・朝食 一同
  5. お誕生日祝い 一同
  6. ニコニコ献金 ドライバー
  7. その他連絡・報告 各担当
  8. 閉会点鐘 中村 茂高 会長
- ※ 海洋活動(カッター漕走、クルーザー帆走等体験)と昼食 (海風館) 9:30~13:00

### 《《《《 10月第2例会 》》》》

- 日時: 2001年10月24日(水) 6.30~8.30 p.m.  
 場所: 大阪YMCA土佐堀館 9F
- \* お誕生日 谷川迪子メネット1日、山村メネット9日、湯浅君30日

## 【 クラブ統計 Statistics 】

2001年9月	種別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 26名	メン	15名	9名	9月:切手 1,564 gr	8月: 20,300円
例会出席 15名	メネット	7名	0名	現金 4,000 円	(博愛社へ献金する)
メイクアップ 1名	ビジター	2名	0名	累計:切手 4,065 gr	累計: 72,830円
出席率 61.5%	ゲスト	3名	0名	現金 18,500 円	(除Xmas 献金、
(Attendance Ratio)	合計	27名	9名	(明細はP.3 "BF報告" 参照)	オークション、記念献金)

今月の聖句は昔の文語体の聖書では「愛は寛容にして、慈悲あり」となっています。(余談ですが、私は昔の文語体の方が格調が高くて好きです。)

五木寛之の「大河の一滴」(幻冬舎刊)の中の「寛容(トレランス)のすすめ」という一篇の中に、次のような言葉が書かれています。

「最近の免疫学のいちばん興味ぶかい点は、生物の免疫系に「寛容」という活動を発見したことでしょう。自己と非自己が、お互いに拒絶せずに、何とか折り合って生きていこうとする動きを、免疫学で「寛容=トレランス」という。(中略)「寛容」とは許すこと、欠点を認めることであり、そして激励ではなく、慰めであると僕は考えます。つまり、頑張らなくてもいい、頑張れない人に頑張れなんて言うことはないよ、ということです。深刻に落ち込むこともまた、人には大切なのです。」

仏教思想の持ち主である五木寛之の考え方にも見られる、聖書と共通した「人に寛容なれ」という言葉は宗教の違いを超えた普遍的な真理であると思います。また、「激励でなく慰め、つまり頑張らなくてもよい」という相手をそのままに受け入れる態度はカウンセリングの要諦でもあるのです。(聖句選、コメント：黒田厳之)

《《《《 9月第1例会 》》》》

【 Report of the May Club Meeting】

(9月19日(水) 18:30~20:40)

ブリテン担当：松浦 孝次

9月は、メネットの月。プログラムはメネットが企画し、坂本メネットの司会、畠中メネット会長の開・閉会点鐘、松浦メネットの聖句朗読と、運営もメネットが中心でした。5人のゲスト&ピジターを迎えて開催。

冒頭、9月11日に発生した米国大規模テロの犠牲になった人たちに對し哀悼をこめて、黙禱をささげました。ハワイ・ヌアヌクラブから寄せられた、「悲劇的事件で破壊された尊い人命と安全な生活に思いをいたし、ワイズダムの絆のもとに連帯の祈りをささげてほしい」との心情あふれるメッセージが、藤原メンから紹介がありました。

前年度の会計報告について、三浦メンから説明があり、審議の上承認されました。

晩餐のあと、博愛社・事務長の山内信三氏から、「児童福祉施設の現状」についてスピーチがありました(氏はYMCAに永年勤務され、大阪河内ワイズのメンバーでもある)。

全国に553箇所ある「児童養護施設」のほか、「児童を支援する諸施設」があります。最近、親による児童の虐待など、「児童憲章」の精神にもとる、社会的に大きな話題となる事件が増えています。博愛社は、篤志家小橋氏が明治23年に創設、111年の歴史があり、大阪十三の地で多様な福祉施設をもって、キリスト教精神にもとづく総合福祉事業を営んでいます。もともと児童の養育(教育と救済)が創設の目的だった、との紹介がありました。

つづいて、谷川寛メンからアジア地区大会の報告があり(P3記事参照)、また藤原メンから「CSアンケートの集約」の発表があり10月合宿例会で協議することになりました。

A total of 27 Y's Men, Y's Menettes and Y's Men guests attended at the September meeting. This month, with its emphasis on "Y's Menettes' activities", Y's Menettes presided at the meeting.

At the beginning, Y's Man Sam Fujiwara introduced touching messages he and other members received from Mae Hiranaka, our Brother club member in Hawaii, about the tragedy occurred in the US. last September 11th. We offered a silent prayer for the bereaved and suffering, thus sharing their grief.

Collecting contribution from the public are planned to be launched on Saturday, 22nd, tying up with local YMCAs. The contribution to be collected is to be sent to the YMCA of the USA via Japan YMCAs.

Y's Man Naoyuki Miura, treasurer of our club, reported financial result of our club ended for the fiscal year 2000/2001 and it was unanimously approved.

Mr. Shinzo Yamauchi, Secretary General of the Hakuaisha, a nursing home for children, told us its history and current situation for this month's event.

Sam Fujiwara made an interim reports on possible new programs of our club's community service projects to be implemented for coming terms. His report is based on responses to questionnaires received from club members on the CS program.. Final selection of the new programs will be made at the October meeting.

《《《《 9月第2例会 》》》》

【 Report of the May Officers' Meeting】

(9月26日(水) 18:30~20:50)

書記・山田 孝彦

当日の協議・報告事項は次の通りです。

1. 10月例会プログラム：

標記プログラム(P1)のとおりと決めた。

2. 11月例会プログラム：

B F月間のためスタンプカッティングを全員で行なう。卓話者として谷川俊君と湯浅君に、各々が取り組んでこられたテーマについてお願いする。時間各15分。

3. CS活動とクラブ20周年行事について

中村会長から、CS活動とクラブ20周年行事を包括した「アメリカン子どもサミット」の提案があった。CS活動のテーマとして、YMCAの戦略、活動の中身、資金調達、他に協力を求める組織など、考慮すべき課題は多いが、われわれの主体的活動として前向きに検討していく。また20周年行事のもちかた(主管：山田実行委員長)をあわせ、10月合宿例会においてメンバーで討議することにした。

4. その他

- ① ワイズメンバーの、100%YMCA会員化をめざして、クラブ会費の内容、徴収方法などの現実的対策を検討する。
- ② 11月11日チャリティーランの参加は2チームとし、参加メンバーを固める。なお、安全と設営の担当。
- ③ 土佐堀YMCA運営委員会の報告
- ④ カーニバル(11月3日)へのかかわりかた

以上

《《《《 YMCA ニュース 》》》》

連絡職員・浜野 昌保

★ 米国大規模テロ被災者救援街頭募金の報告と感謝

9月22日(土)は急な呼びかけにもかかわらず、多くの方々がお越しになりご協力いただいたことをお礼申し上げます。みなさまのご支援により多くの支援金を得る事ができましたことを心から感謝しご報告いたします。

- ・日時：2001年9月22日(土)午後1時～4時
- ・場所：①大丸梅田店東側広場 ②大丸心斎橋店北角
- ・募金額：157,003円 196,662円
- ・募金活動に参加していただいた方：67名

また、この募金活動以外に「祈りの会」と中西部会においても支援金をいただきましたことを感謝いたします。

★ 大阪YMCAに新しい学校ができました。ご理解の上、ご家族やお知り合いの方々にご紹介ください。

○「インターナショナルスクール」(みなとYMCA)

9月5日に開校。大阪市と協力して財団法人が運営を担いますが、認可される学校ではなく任意の教育機関です。入学した子どもたちは将来アメリカ、日本の中等教育機関の単位取得により、大学入学への道を開くことになります。

○「通信制・単位制高校(YMCA学院高等学校)」

認可申請への交渉を続けていた同高校は、来年4月に南YMCA会館での開校が可能になりました。日本のYMCAにおいて、一条校の高等学校の開校は初めての事です。

★ 早天祈禱会のご案内

- ・日時：10月19日(金)7:30～8:30
- ・場所：大阪YMCA会館 10階チャペル
- ・証し：池上 正氏(大阪YMCAスタッフ)

★ 六甲研修センター開設50周年記念式典

- ・日時：10月27日(土)16:00～18:30
- ・場所：YMCA六甲研修センター
- ・内容：記念礼拝、感謝会、祝会

★ 土佐堀YMCA行事予定

- カーニバル 11月3日(祝)
- クリスマス 12月1日(土)

《《《《 10月BF ニュース 》》》》

【Report of the Brotherhood Fund in August】

BF 委員長・栗山佳三

◇現金提供者:

山田君、黒田君、栗山君、中村隆君

◇切手提供者:

畠中君、山田君、黒田君、松浦君、中村隆君、栗山君、隅田君、藤原君、福永君、三浦君

今月の殊勲賞 畠中君(1,200g)

《《《《 第5回 中西部会 開催される 》》》》

9月24日(月・祝)、日本キリスト教団大阪教会で開催。総勢128人、うち当クラブからは13人が参加しました。岡村 恒牧師から開会祈禱と「兄弟愛をつづけよう」と

題してのメッセージが与えられました。奈良 信氏の記念講演「ワイズのルーツを尋ねて」は、ワイズの歴史と理念がエピソードを交え紹介されました。奈良 伝氏によって、1928年日本最初のワイズメンズクラブが大阪で創設されたこと(アメリカでの誕生より6年後)、ワイズの理念は、「違うもの同士がお互いに敬愛することにある」と。

00～01年度の事業報告等がなされたあと、リードオルガン、パイプオルガン、またクラリネットの演奏があり、癒されると共に「いざ立て」の思いをかき立てられました。

《《《《 米国テロ被災者救援街頭募金に奉仕 》》》》

9月22日(土)午前「祈りの会」が大阪YMCAでもたれたあと、午後被災者救援街頭募金が市内2カ所で行われました。当クラブからは、12人(三浦、湯浅、藤原、栗山、中村茂、山田、山村大妻、谷川寛大妻、隅田・中村メネット)の人たちが馳せ参じ、奉仕しました。YMCAならではの即応的行動は、マスコミ(朝日新聞、産経新聞)にもとりあげられました。



(募金活動に活躍するクラブメンバーたち)

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆  
山田 孝彦メンから寄せられた「ワイズメン・アジア大会」の報告です。2回に分けて掲載します。

第19届 亞洲洲域大会の報告—その1

【I】日時・場所

期： 8月24日(五)～26日(日)

地點： 台中市通豪人飯店；新天地

【II】参加者数(登録名簿から)に思う

日本から総勢250名(東120:西130名)が参加。韓国が52名、香港は7名(紫荊クラブはゼロ)の登録で、こういう大会で「やあやあ！」と再会を喜ぶ常連の姿もあまり見かけず、今の時代の各国の立場・事情を考えてしまい、複雑な思いでした。

ちなみに、センチニアルからは鈴木;栗山;谷川;三浦;山田の5名。これまた近來になく寂しい参加でした。鈴木さんはVIP席に、谷川さんはYMCA 亜細亞同盟代表席に着くので、一般席の3人は、9名ずらりと並ぶ「なかのしま」の勢いに押され気味。

【III】洲域會務報告(Area Secretary General's Report)から

大会メイン議題の一つ「アジアエリアの活動報告」から抜粋します。

\*アジアの多くの国の経済が衰退傾向にあり、ワイズ活動にも不利に影響している。 \*アジア地域合計で472クラブ、9,667名。 [P4につづく]

## 第19届 亞洲洲域大会の報告—その1

\* 対前年8クラブ、3名の減少である。  
国際全体のシェアとしてはクラブ数で32.2%、メンバー数で34.6%を占めている。

\* ASF;BF;EP;TOFなどの国際プログラムは前年よりは向上したが、目標額にたいしては60~70%の達成に止まった。これらの問題を推進するためにコミュニケーションが重要である。\* 上記にもかかわらず、アジアは国際のなかで最も強力な地域である。  
[次号に続く]

◆○○◆ ◆○○◆ ◆○○◆ ◆○○◆ ◆○○◆ ◆○○◆

### お知らせ

谷川寛君は、香港中華YMCAの100周年記念祝典(10月18~21日)に出席のため、香港を訪れます。私達のプラザー、ポヒニアクラブ・メンバーとの交流も予定しています。



### ニコニコ・メッセージ

#### 【 Messages from the Club Members 】

9月例会にご出席のゲストは、卓話をいただいた山内信三氏。黒田君紹介の石津雅人、鎌田史郎の両氏。ビジターは、大阪ヴェクセルクラブの松本武彦、藤川尊基の両氏です。

#### 《ゲストからのメッセージ》

○きちんとした進行、晚餐のときの楽しい話らい、大人のクラブを感じました。晚餐直前の「日々の糧」は、印象深い「食前の感謝」でした。機会を見つけ、また訪問させていただきます。

(大阪ヴェクセルクラブ・松本武彦)

#### 《“ごぶさた”メッセージ》

○皆様によろしくお伝えください。

(池永美智子) (池永 洋直)

○いつもお世話になっております。9月19日から出張で北海道に行っていて、残念ながら博愛社のお話をきくことができません。皆様によろしくお伝えください。

(新保 正秋)

#### 《会員からのメッセージ》

○博愛社のお話をしていた山内さんに感謝しています。日々大変なお仕事と存じますが、社会のために頑張ってください。

(川村 一夫)

○常軌を逸したテロで世界中が暗く沈んでいますが、二度と繰り返されることのないようYMCAの「祈りの会」で祈りたいと思っています。明日、坂本哲朗君が東京日黒クラブに入会されるそうです。ご活躍を期待しています。

(栗山 佳三)

○石津雅人、鎌田史郎両氏を例会にお誘いでき、大変嬉しく思っています。両氏が3回の例会出席をクリアされ、めでたく入会される日を楽しみにしています。

(黒田 巖之)

○今日は初めての司会で緊張しました。たくさんのゲストもこられて楽しい例会でした。

(坂本 千春)

○博愛社のお話をうかがい、親の責任の大きさを一層考えました。すべての子供が守られ、平和であり

ますように祈ります。(隅田 恵子)

○今日の例会も盛会で結構でした。(田中 稷二)

○ワイズメネット強調月間として、多くのメネットの参加が毎月のごとくあり、大変うれしく感謝です。

(谷川 寛)

○8月の納涼のつどいから今日まで、本当に長い時間でした。久しぶりの出会いに感謝です。その間世界を驚かす出来事がありました。

(谷川 俊一)

○米国同時多発テロの犠牲者のために、ワイズが募金を通じて少しでもお手伝いできることは幸いです。また、山内信三さんの養護施設は、さまざまな子供たちが問題を抱えています。何か私たちにできることはないでしょうか?

(中村 茂高)

○E-mailは読ませて頂いています。そのうち上手に受発信できると思います。娘たちが先生です。

(中村 幸枝)

○今年度も無事“メネット月間”を皆さまのご協力のもとに済み感謝です。わが長男も児童養護施設の職員です。どうかつつがなく勤めてほしいと願うものです。

(畠中ひろみ)

○私がYMCA報告にたつと、いつもお金をくださいというお願いばかりで申し訳ありません。ワイズメンズクラブにお支えいただいていることを痛感します。また来月も「お願いしまーす」。

(浜野 昌保)

○平和のため祈るのみ。

(福永 嘉彦)

○何故か8月のビアパーティからの1カ月が長く感じられ、皆さんとの再会が懐かしくさえありました。黒田さんが大勢のゲストを招かれ、賑やかに例会が開催されたことに感謝しております。

(藤原 正巳)

○21世紀に入っても人間同士の殺戮が、止むどころか、より激しいものになってくることに暗然たる思いがします。ハワイ・ヌアヌクラブからの切々たるメッセージのなかに、「今回の事件はアメリカ人の生き方を永久に変えることになった」とのくだりがあり、彼我ともに衝撃の深さを思い知ります。

(松浦 孝次)

○今日は4人のゲストと博愛社の山内信三さんを迎えて賑やかな例会でした。児童養護施設のことをいろいろお聞きしました。私もボランティアで、江坂の近くにある松柏学園の子供たちの遠足に何度か一緒に行ったことがあります。

(松浦 和子)

○ニューヨークのテロにあわれた人々に哀悼を込めて。無差別殺人のテロは許せない。

(三浦 直之)

○アメリカでの集団テロは手段を選ばぬ暴力で怒りを覚えます。犠牲となった人々の平安を祈るしかない思いです。しかし、「目に目を」「歯には歯を」というのはイエス様がどう思われるのでしょうか?考えさせられてしまう今日この頃です。

(山田 孝彦)

○石津さん、鎌田さんをお迎えして、入会をお待ちしています。

「稲穂まだ黄金なる日待ちしかな」

(山村 幸明)

○ニューヨークの連続テロで、多くの方が犠牲になりました。神様のご加護がありますように。

(山村 利子)

○8月23日に引越しを完了しました。やっと念願の所に住むことができて感謝しています。

(湯浅 充章)